

## 一般演題

### 1. Thyroxine Binding Globulin (TBG) RIA およ び Triiodothyronine Uptake (T<sub>3</sub>U) の基礎的な らびに臨床的検討

伴 良雄 千葉 正志  
木村 肇 井上 健  
児島 孝典 宮本 正浩  
飯野 史郎

(昭和大藤が丘病院内科・内分泌代謝)

固相法 T<sub>3</sub>U 測定法: Triobead は血清 25  $\mu$ l を用い、室温、200 rpm、25分間アッセイし、標準液との比から算出する。精度 1.2~2.4%, 再現性 2.6~5.4%, サイロテスト 3 とは  $r=0.94$ , 正常値  $29.1 \pm 2.5$  (SD)%, バセドウ病 (G 病) >37.5%, 甲状腺機能低下症 <26.1%. Phadebas T<sub>3</sub>U は血清 100  $\mu$ l を用い、室温 5 分後、セファデックス錠を加え、15分後、分離する。標準液との比から算出する。精度 1.5~1.8%, 再現性 2.2~3.6%, サイロテスト 3 とは  $r=0.97$ , 正常値  $53.9 \pm 2.4$  (SD)%, G 病 >63.3%, 低下症 <49.2%. RIA gnost TBG は血清 20  $\mu$ l を用い、18時間アッセイ後、PEG で分離。精度 6.2~7.5%, 再現性 5.4~11.2%, TBG の maximal T<sub>4</sub> binding capacity (Cap) とは  $r=0.76$ , 正常値  $19.9 \pm 3.7$  (SD)  $\mu$ g/ml, G 病 14.8~26, 低下症 17~31, TBG 減少症 <11.5, 增多症 >48. TB G-I-125 は 100 倍希釈血清 100  $\mu$ l, 抗体結合セルロースを用いる固相法で、精度 2.7~4.0%, 再現性 3.3~15.7%, Cap とは  $r=0.96$ , 正常値  $17.9 \pm 4.0$  (SD)  $\mu$ g/ml, G 病 13~18.8, 低下症 17.7~27.4, TBG 減少症 <12.5, 增多症 >39.5. TBG と T<sub>3</sub>U とは逆相関し,  $r=0.88$  であったが, TBG 40  $\mu$ g/ml 以上の T<sub>3</sub>U は平行して低下せず, T<sub>4</sub>/TBG と T<sub>3</sub>U  $\times$  T<sub>4</sub> との  $r=0.6$  であった. TBG 量に比し, Cap は TBG 增多症では低く, T<sub>4</sub> 添加量に問題があり, G 病では低く, 低下症では高く, これは内因性 T<sub>4</sub> を無視している点に問題があると考えられた。

### 2. 胆汁酸 RIA キットの検討

前田 貞美 佐々木康人  
千田 麗子 染谷 一彦  
(聖マリアンナ医科大・3内)

血中胆汁酸 cholyglycine (CG), Sulfolithocholylglycine (SLCG) 測定のための RIA キットを評価し、血清 CG, SLCG 測定の臨床的有用性を検討した。測定精度の評価には Response Error Relationship (RER) と Precision Profile を用いた。また高中低 3 種の濃度の精度管理用試料を毎回二重測定し、連続10回の測定結果より測定内、測定間誤差を算出した。測定内誤差は CG, SLCG 共 C. V. 9%以下、測定間誤差は SLCG 11%以下、CG は中低濃度レベルで15~20%とやや大きかった。稀釈試験、回収試験も含めて、両キット共臨床検査として使用しうると判断した。

正常対照における空腹時血清 CG 濃度は  $20.75 \pm 24.9$   $\mu$ g/dl ( $n=36$ ), SLCG 濃度は  $33.9 \pm 17.7$   $\mu$ g/dl ( $n=45$ ) であった。空腹時血清胆汁酸濃度は、GOT, GPT が 100 以上の慢性肝炎、肝硬変症患者の全例で CG, SLDG 共 70  $\mu$ g/dl 以上の高値を示した。CG は GOT, GPT 共に 100 未満の肝硬変症の全例でも高値を示し、慢性肝炎では全例低い傾向がみられた。SLCG は GOT, GPT 100 未満の慢性肝炎の 6/10, 肝硬変症の 8/14 例で高値を示した。CG, SLCG は急性肝炎患者の臨床経過、GOT, GPT の変動とよく相関した。